

# 7. トマト茎葉残さ処理を組み合わせた土壌還元消毒技術の確立 (H30~32)

## 背景・目的

山梨の施設トマト栽培の課題

### 黄化葉巻病対策

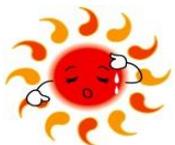


媒介するタバココナジラミは薬剤抵抗性

↓  
薬剤だけでなく物理的防除対策  
の併用が必要

### 高齢化

高温ハウス内の  
・クロピクなどによる土壌消毒  
が大変  
・トマト残さの持ち出しが大変



同時に解決できる  
方法はないかなー。

トマト残さをすき込めば、  
残さ処理も楽だし、タバコ  
コナジラミも退治できるかも！

他の病害虫にも効果があれば  
一石二鳥だ！



そこで  
トマト残さ(+ふすま等)の鋤込  
みによる土壌還元消毒法を確立  
する。

### 研究内容

1. 各種病害虫防除効果
2. ふすま等土壌還元消毒  
資材の施用量
3. 化学肥料削減量
4. 土壌養分の動態

### 土壌還元消毒とは

分解しやすい有機物を施用し湛  
水することで、土壌の酸素がなくな  
り、酸欠等で土壌病原菌やセン  
チュウなどが死滅する。

### 期待される効果

1. **黄化葉巻病対策** 媒介虫であるタバココナジラミの封じ込め
2. **低コスト** 農薬コスト削減(クロピク、DD使用 **4.8万円** → ふすまや米ぬか使用 **0~3万円**)  
施肥コスト削減(化学肥料 **3割くらい削減**)
3. **省力** トマト残さ持ち出し**30時間** → 自走茎葉裁断機(ハンマーモア)で粉碎 **2時間**) 埼玉農総研調べ
4. **環境保全** 減農薬・減化学肥料

